

GLENMORANGIE

SINGLE MALT SCOTCH WHISKY



報道関係各位

2020年6月吉日

グレンモーレンジィがキリンの保全活動をスタート

2020年世界キリンの日(6月21日)より、
3年に渡るパートナーシップを結び、様々な形でサポートを展開!

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社（東京都千代田区神田神保町）にて取り扱いのシングルモルト・ウイスキー、グレンモーレンジィは、ブランドの1つのシンボルとして表現してきた絶滅危惧にあるキリンの保全活動を、スコットランド王立動物学協会および、キリン保全財団とパートナーシップを結び、世界キリンの日である2020年6月21日（日）よりスタートいたします。



完璧すぎるウイスキーと評されるグレンモーレンジィは、そのこだわりやフルーティーで華やかな味わいがウイスキービギナーからエキスパートまで多くのファンを魅了しています。

グレンモーレンジィは1843年の創業時から、スコットランドでもっとも高さのある蒸留器を使用しており、それは大人のキリンとほぼ同じ5.14mほどもあります。背の高いポットスチル（蒸留器）は、繊細で華やかなアロマを持つ原酒を抽出でき、グレンモーレンジィの味わいの大きな特徴の1つとなっています。キリンをブランドの1つのシンボルとして表現してきたグレンモーレンジィですが、実はキリンは絶滅の危機に瀕しており、6月21日の世界キリンの日を祝して、グレンモーレンジィはキリンの保全活動を開始いたします。

アフリカの南部を中心に生息するキリンは複数種いますが、過去30年間でその生息数が30%以上も減少しており、その頭数は約11万頭弱。多いように聞こえますが、アフリカに生息するゾウの約¼ほどしかいないと言われ、国際自然保護連合（IUCN）が定める絶滅危惧の恐れのある種のレッドリストに含まれています。リストではキリンの1種が「危急」、複数種が「絶滅寸前」と「絶滅危惧」に指定されています。アフリカの大草原で葉を食む優雅なキリンの姿は、人々を癒してきましたが、絶滅の危機に瀕していることは残念ながらこれまで大きく取りざたされることはありませんでした。保全活動は様々取り組まれ、近年では少しばかりの頭数の回復は見られるものの、大きな改善への道のりはまだ遠いのが現状で、専門家は「静かなる絶滅」を迎えているという警笛を鳴らしています。

グレンモーレンジィでは、キリンの保全活動のサポートとして、スコットランド王立動物学協会および、キリン保全財団と3年に渡るパートナーシップを結びました。活動は2022年末までとし、様々な形での保全活動のサポートを展開していくことでキリンの保全に大きく貢献できることを期待しています。

GLENMORANGIE

SINGLE MALT SCOTCH WHISKY



「静かなる絶滅」と危惧されるキリン

キリンはこれまで1種しか存在しないと認識されてきましたが、調査による9亜種生息していることが判明しています。生息地域はアフリカ南部を中心とし、現在の頭数は約11万頭弱とされています。

人口増加や政治的背景、密猟、家畜の過放牧、気候変動などの様々な理由によってキリンの生息地は脅かされています。その生息数はアフリカ全体で、この30年で30%以上という大幅な減少が見え、大型哺乳動物のなかでも特に絶滅の危険性が高いとされていますが、ゾウやサイ、ライオンなどの個体群の減少の呼びかけとは異なり、その危機的状況にはこれまで大きな関心が向けられなかったのが現状です。中でもより希少な亜種であるヌビアキリンは、ウガンダを中心に3,000頭しか生息していないと言われ、深刻な絶滅の危機に追いられています。

キリンの生体と保全状況

体高： オス 5.3m / メス 4.3m

体重： オス 1,200Kg / メス 830Kg

速度： 時速 50Km

食性： 植物食（木の葉、若芽、小枝などを中心に食べるが、果実や草本を食べることもある）

分布： アフリカ大陸、サハラ以南エリアの21か国に生息が確認されている

寿命： 約25年

捕食者： ライオン、レオパード、ハイエナ、チーター、クロコダイル、人間

保全状況： 国際自然保護連合（IUCN）はキリンを絶滅危惧の恐れのある種のレッドリストに加え、1種が「危急」、複数種が「絶滅寸前」と「絶滅危惧」に指定されている

GLENMORANGIE

SINGLE MALT SCOTCH WHISKY



グレンモーレンジィのキリン保全活動とパートナーシップ

キリン保全財団

Giraffe Conservation Foundation (GCF)

国際動物保護団体として、アフリカ全土にわたり、政府や大学機関、ローカル団体や国内外の保全団体とともに、キリンの保全管理やその支援を行っています。ナミビアにベースを置く慈善団体は2009年にジュリアンとステファニー・フェネシー夫妻によって設立されました。ジュリアン・フェネシー博士は20年以上におよぶキリンの生体研究の実績を持ち、国際自然保護連合（IUCN）のキリン＆オカピ専門家グループの座長も務めています。オーストラリア、シドニー大学で生物学の博士号を取得しているフェネシー博士は、ヨーロッパ動物園・水族館協会の保全アドバイザーも兼任しています。

<http://www.giraffeconservation.org>

GLENMORANGIE'S SUPPORTS

キリン保全財団（GCF）へのサポートとして、獣医、エキスパートスタッフ、設備への投資をいたします。
それによりGCFは：

- キリンたちの生息環境の整備と密猟からキリンを守ることができます。
- キリンたちにGPSを取り付け、その行動や生息パターンをモニタリングし、研究します。
- アフリカをベースにしている保全活動家たちのトレーニングやその活動のサポートをします。

スコットランド王立動物学協会

Royal Zoological Society of Scotland (RZSS)

スコットランド王立動物学協会は、野生動物の保護と研究を行う慈善団体で、エディンバラ動物園とハイランドワイルドライフパークを所有しています。1909年に設立され、自然や絶滅危惧種の保護の重要性を伝える活動をしています。

<https://www.rzss.org.uk/>

GLENMORANGIE'S SUPPORTS

スコットランド王立動物学協会へのサポート：

- グレンモーレンジィとのパートナーシップの期間内にエディンバラ動物園内にキリンを迎える、その生態を研究するとともに絶滅に瀕しているキリンの状況を世界に発信していきます。
- エディンバラ動物園は世界でも唯一の遺伝子研究設備を備えた施設であることを活かし、野生キリンの生体や繁殖についての研究に取り組みます。そしてその研究結果をGCFの保全活動に役立てます。

GLENMORANGIE

SINGLE MALT SCOTCH WHISKY



グレンモーレンジイ GLENMORANGIE

グレンモーレンジイは1843年、スコットランド北部のハイランド地方、テインの町に蒸留所を設立。伝統的な製法を継承しながら、常に革新的な挑戦を重ね、こだわりの味わいを生み出してきました。

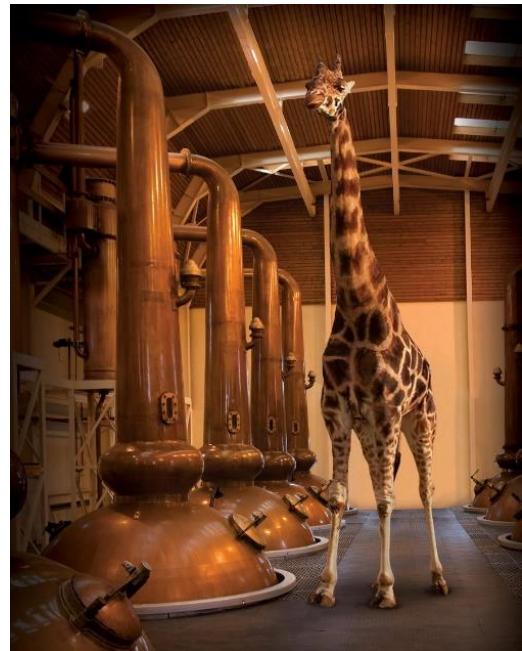
100年以上もの年月をかけて濾過されたミネラル豊富な湧き水を源水として使用し、スコットランドで最も背の高いポットスチル（蒸留器）は大人のキリンと同じ高さほどもあり、フルーティーでフローラルな成分だけが抽出されます。原木を選ぶところからこだわり抜いたグレンモーレンジイだけの特別な樽「デザイナーカスク」で熟成された複雑で奥深い味わいは、「完璧すぎるウイスキー」と称され、世界でも数々の賞を受賞しています。

WEB <https://www.mhdkk.com/glenmorangie/sp>

Facebook www.facebook.com/glenmorangieJapan

グレンモーレンジイのキリン保全活動について

<https://www.mhdkk.com/brands/glenmorangie/sp/news/200616/>



COMING SOON

グレンモーレンジイのキリン保全活動を象徴する限定商品です。
グレンモーレンジイのアイコン商品であるグレンモーレンジイ
オリジナルが、キリン柄のケースに入ったギフトボックスとして
2020年末に向けて発売予定です。
お楽しみに！



報道関係の方のお問い合わせ先：

グレンモーレンジイPR事務局 （株）サニーサイドアップ 担当：北澤、阿部
Mail: mhd_pr@ssu.co.jp TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050

商品についてのお問い合わせ先：

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社 モエ ヘネシー マーケティング部 TEL: 03-5217-9731

MHD モエ ヘネシー ディアジオのCSRに関してはこちら <https://www.mhdkk.com/company/csr/>